

# 2014年3月期 決算説明資料

---

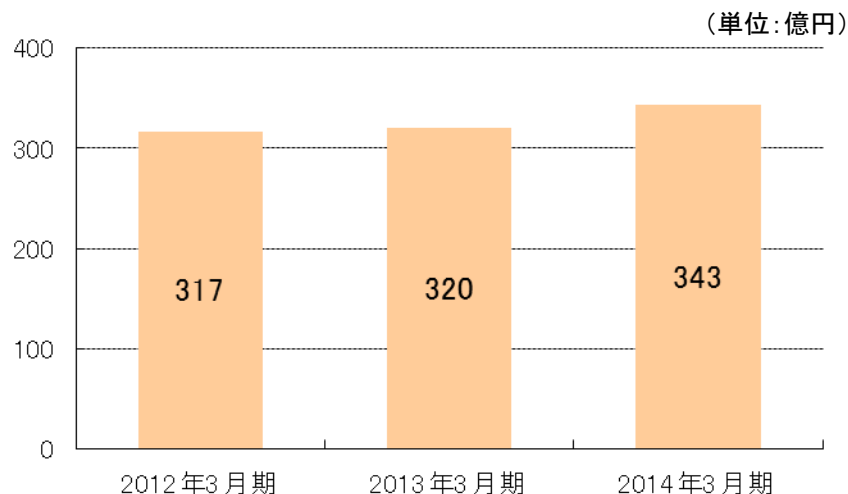
2014年 5月21日

**オリックス銀行**

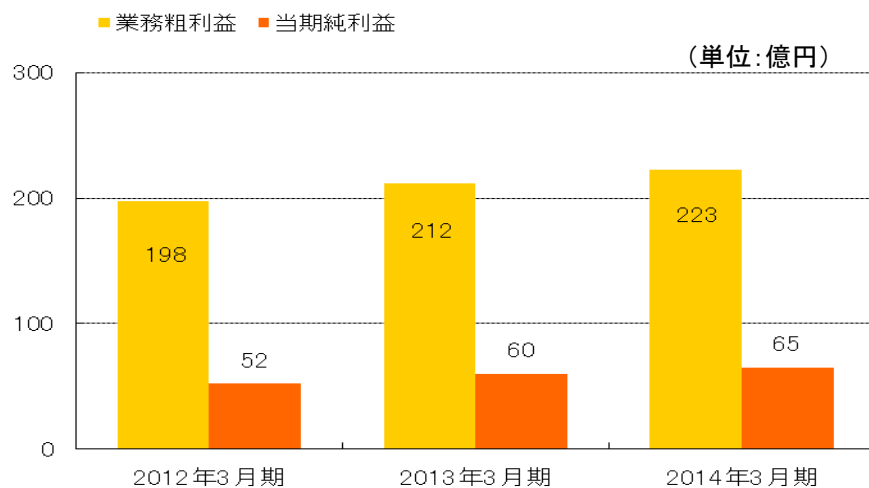
※計数は、単位未満を切り捨てのうえ、表示しています。

# 2014年3月期 業績ハイライト

## 経常収益



## 業務粗利益・当期純利益



## 5期連続増収増益

- 資金運用収支は順調に増加。
- カードローン事業への広告宣伝費を中心とした経費支出により営業経費は増加。
- 信用リスク管理強化により与信関連費用は戻入。

(単位:億円)

	2013年 3月期	2014年 3月期	前期比	
			増減額	増減率
経常収益	320	343	23	7.2%
業務粗利益	212	223	11	5.2%
信託報酬	6	4	-1	-27.7%
資金運用収支	226	248	21	9.4%
役務取引等収支	-25	-34	-9	36.0%
その他業務収支	5	5	0	17.0%
営業経費	119	138	18	15.6%
経常利益	98	106	7	8.0%
当期純利益	60	65	5	8.3%
与信関連費用	3	-8	-11	

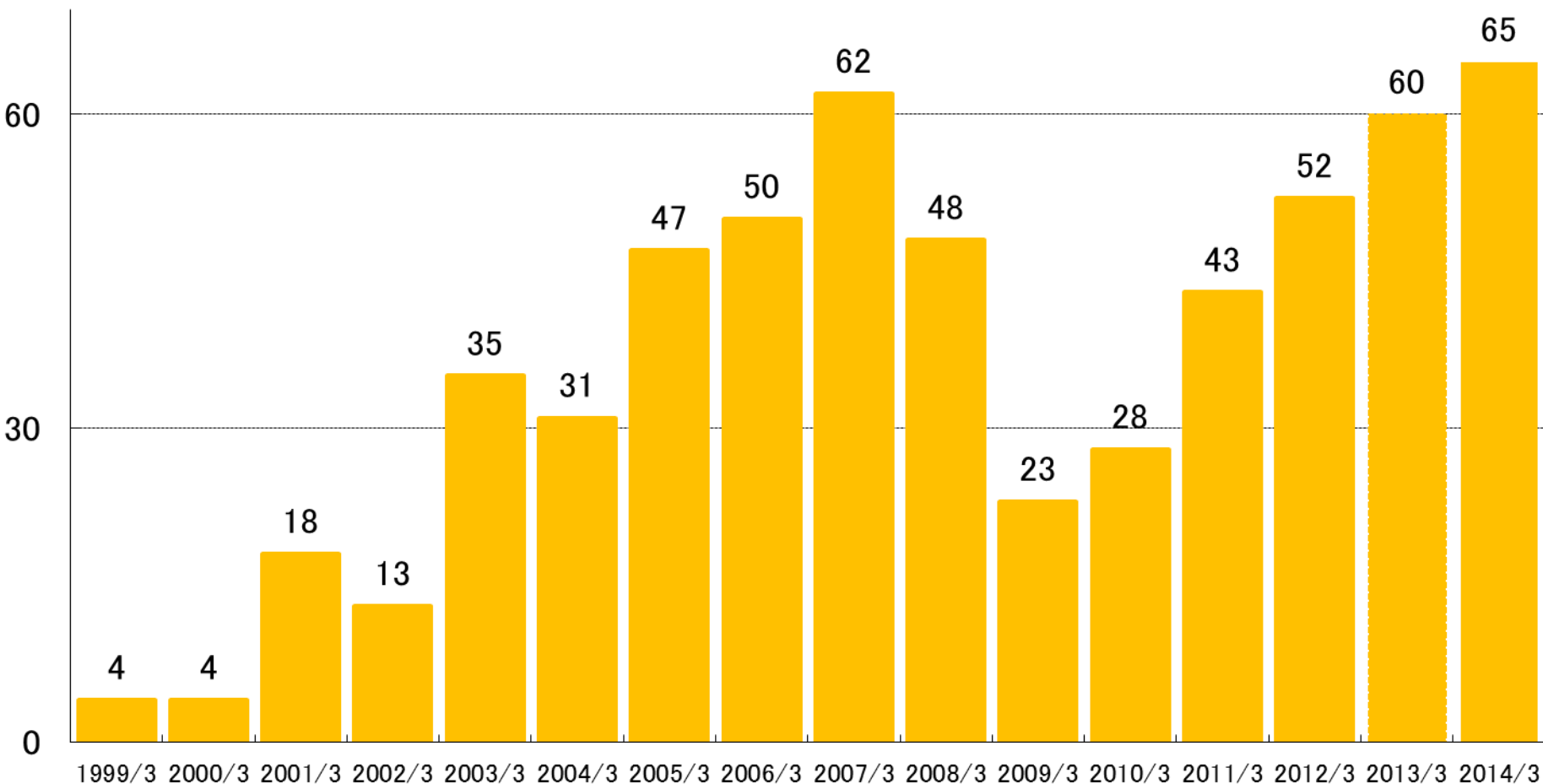
	2013年 3月末	2014年 3月末	前期比	
			増減額	増減率
貸出金	9,636	10,653	1,017	10.5%
預金残高 (譲渡性預金含む)	10,795	12,073	1,277	11.8%
純資産	1,216	1,275	59	4.8%
総資産	13,187	14,577	1,390	10.5%

# 当期純利益の推移

当期純利益は過去最高の65億円

■ オリックスグループの信託銀行としてスタートして以来、16期連続で利益を計上

(単位: 億円)

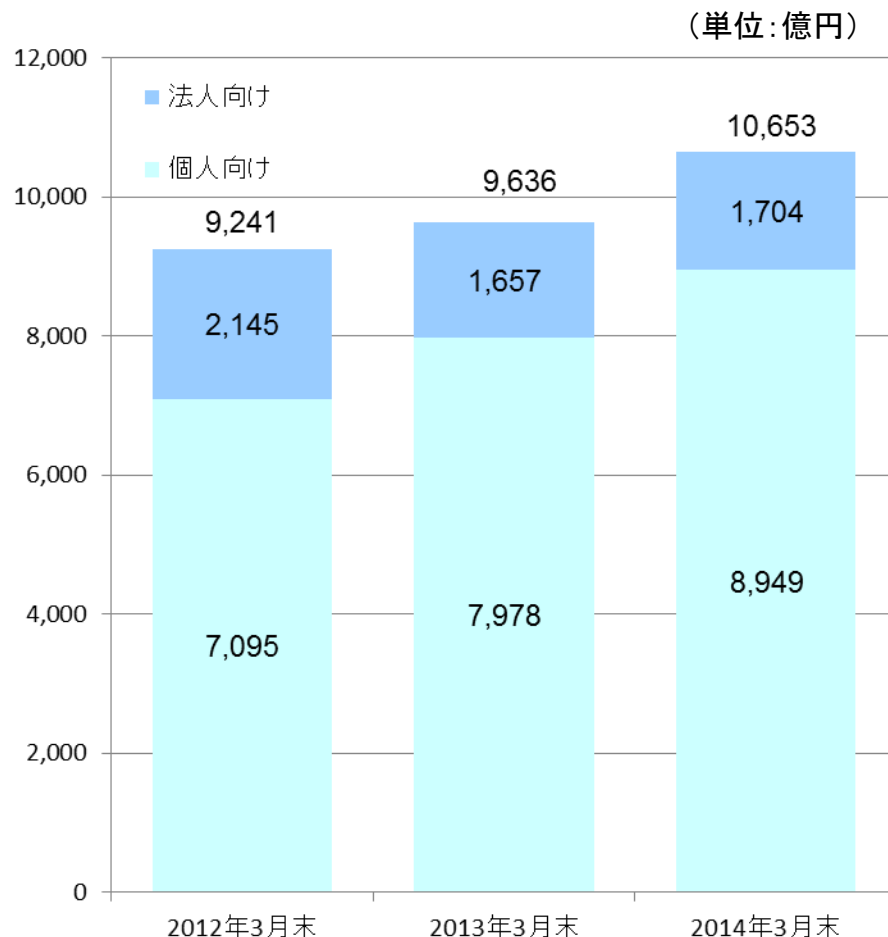


# 貸出金の状況

■ 個人向け融資は、主力の不動産投資ローンを中心に堅調に推移しており、優良な資産を着実に積上げている。カードローンは積極的なプロモーション活動により残高増加を推進。

■ 法人融資は、他金融機関との競争激化が続く中、残高は微増。

## 貸出金残高

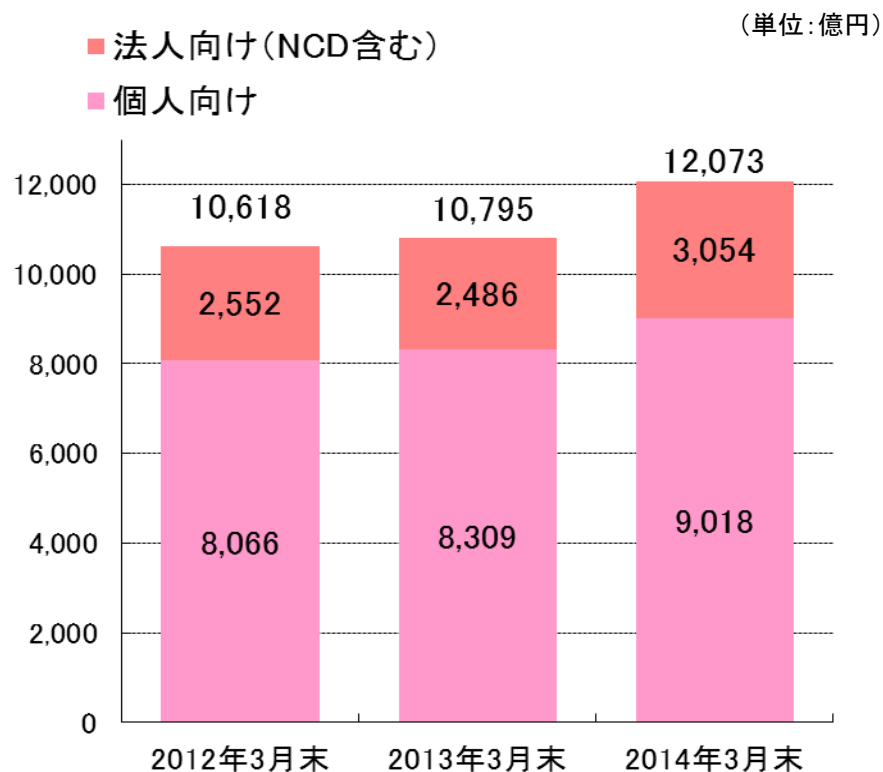


# 預金の状況

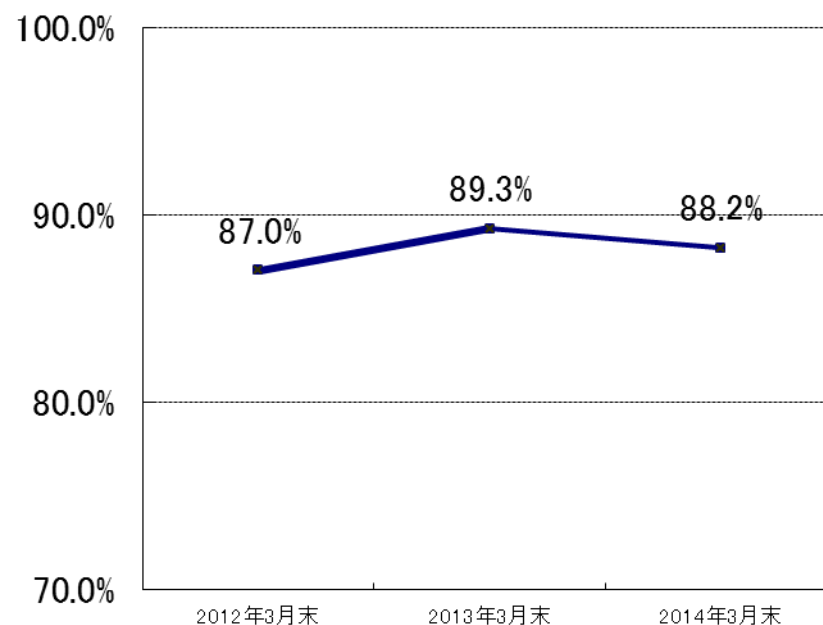
## 個人預金・法人預金ともに順調に増加

- 個人預金・法人預金のバランスを意識した調達
- 流動性の確保に留意しつつ、適切な預貸率を維持

### 預金残高



### 預貸率



# 信託財産と信託報酬

■ 流動化市場の低迷や受託競争の激化による残高減少に伴い、信託報酬も減少。

■ 2013年5月に「eダイレクト金銭信託」の発売を開始

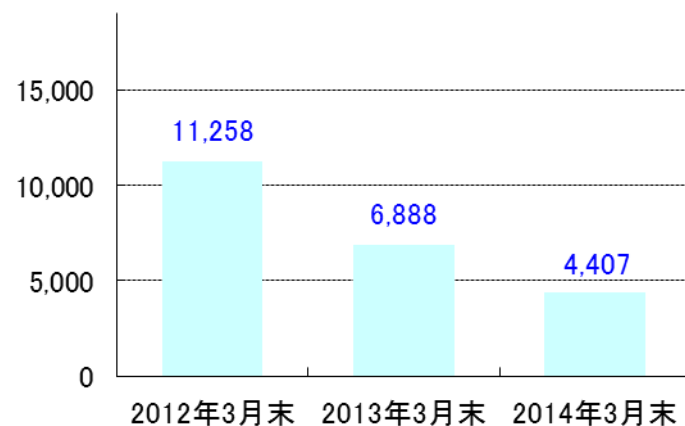
(単位: 億円)

	2012年3月期	2013年3月期	2014年3月期	前期末比
貸出金	610	198	286	87
有価証券	877	788	482	-305
信託受益権	1,668	978	94	-883
受託有価証券	765	562	28	-533
金銭債権	4,903	2,724	1,950	-773
有形固定資産	1,465	1,130	1,118	-12
その他債権	15	14	12	-2
銀行勘定貸	5	6	8	2
現金預け金	945	485	426	-59
<b>資産合計</b>	<b>11,258</b>	<b>6,888</b>	<b>4,407</b>	<b>-2,480</b>

指定金銭信託(合同金信)	-	-	120	120
特定金銭信託	23	69	62	-7
金銭信託以外の金銭の信託	2,001	1,109	751	-357
有価証券の信託	649	562	28	-533
金銭債権の信託	51	39	22	-16
包括信託	8,531	5,108	3,422	-1,685
<b>負債合計</b>	<b>11,258</b>	<b>6,888</b>	<b>4,407</b>	<b>-2,480</b>

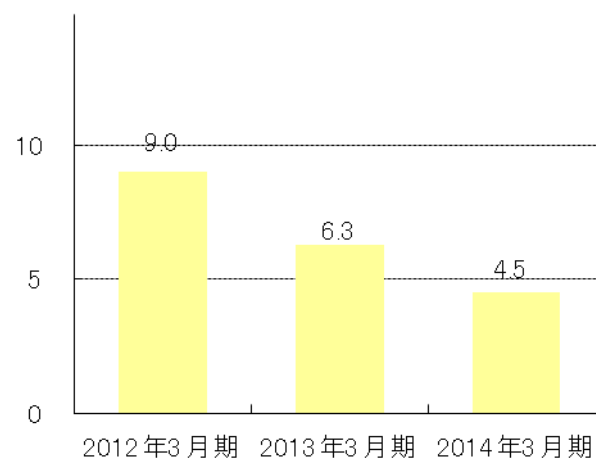
■ 信託財産

(単位: 億円)



■ 信託報酬

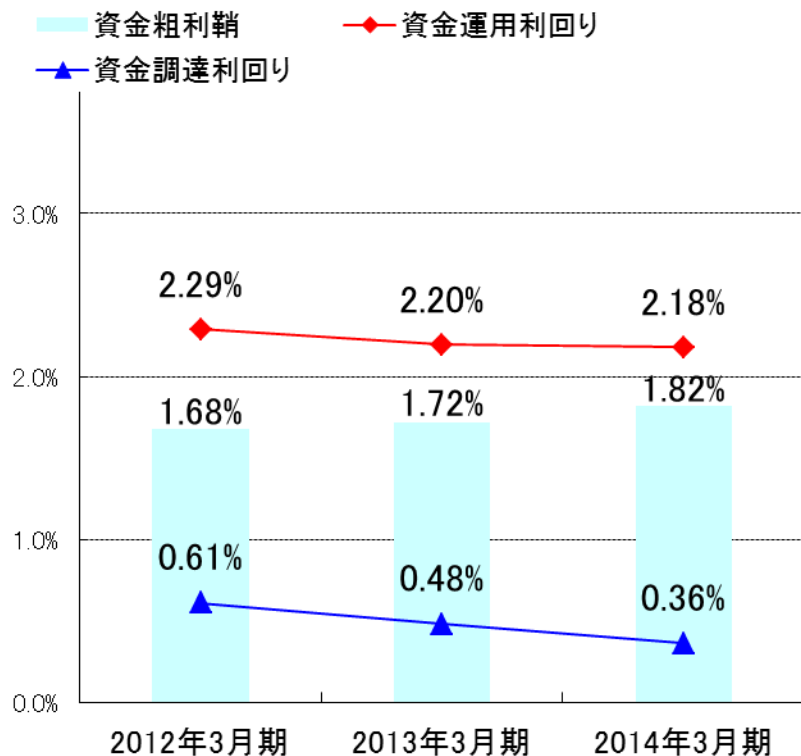
(単位: 億円)



# 資金粗利鞘・利回りと資金運用収支

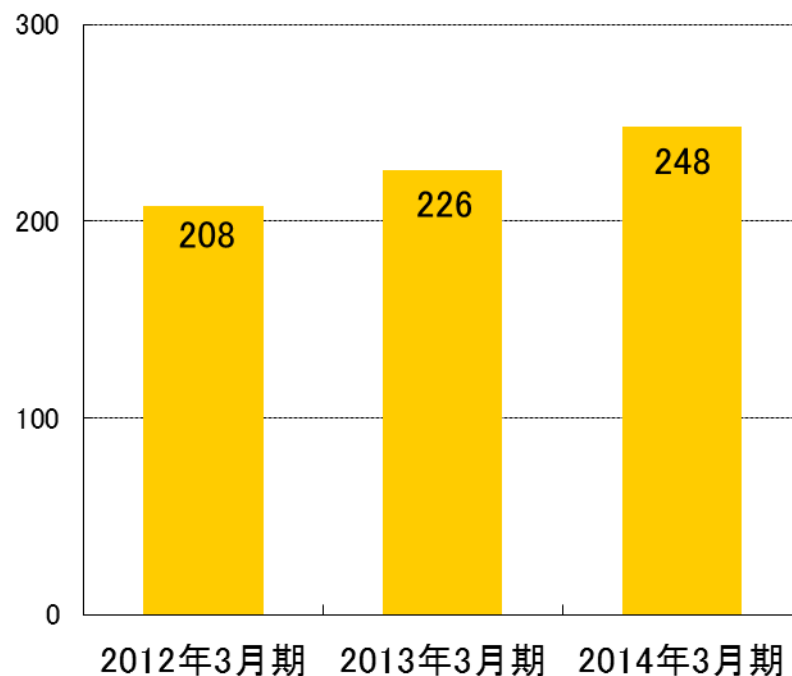
- 調達利回りの低下幅が運用利回りの低下幅を上回り、資金粗利鞘は改善。
- 貸出金残高の増加により、資金運用収支は増加。

## 資金粗利鞘・利回り



## 資金運用収支

(単位: 億円)



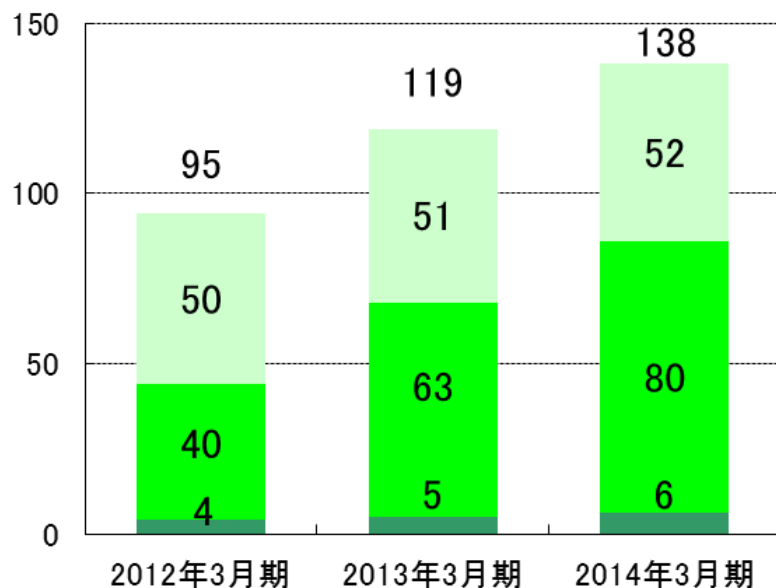
# 営業経費と経费率

- カードローン事業における広告宣伝費を中心とした経費先行支出により、経费率は上昇。

## 営業経費

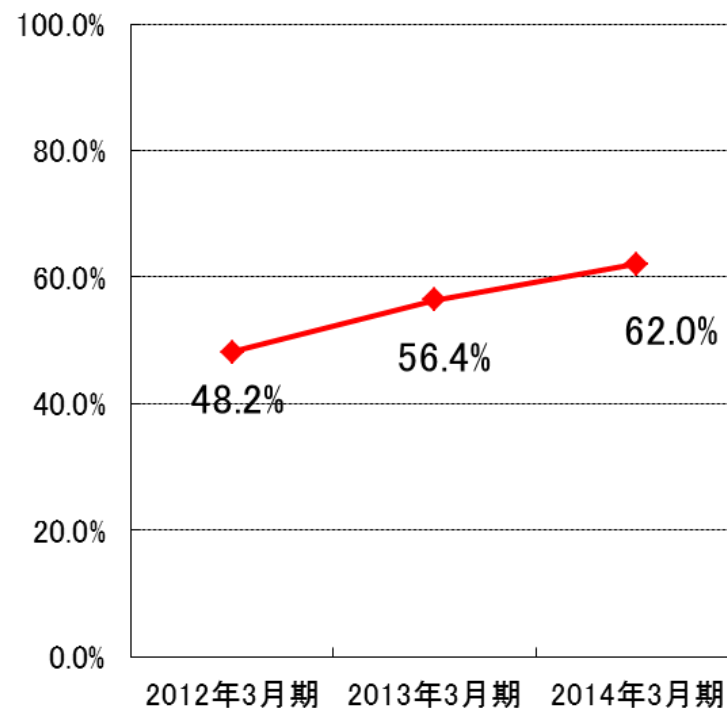
(単位: 億円)

■ 税金 ■ 物件費 ■ 人件費



## 経费率

※経费率 = 営業経費 ÷ 業務粗利益

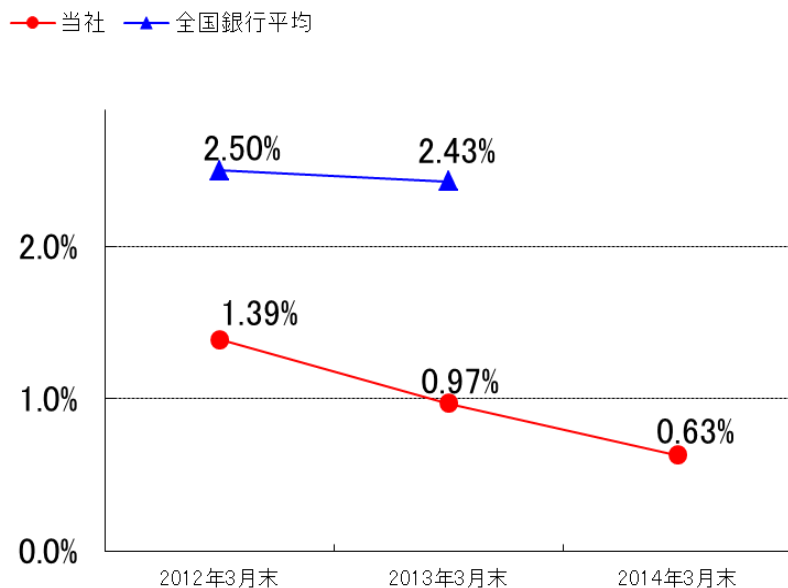




# リスク管理債権(不良債権)

## ■ リスク管理債権比率は、低水準を維持。

### リスク管理債権比率



(全国銀行協会発行「全国銀行財務諸表分析」より)

### ■ リスク管理債権残高

(単位: 億円)

	2012年 3月末	2013年 3月末	2014年 3月末	前期末比
破綻先債権	1	0	0	0
延滞債権	93	69	54	-15
3か月以上延滞債権	-	-	-	-
貸出条件緩和債権	34	23	13	-10
合計	129	93	67	-25

### ■ 金融再生法ベース開示債権

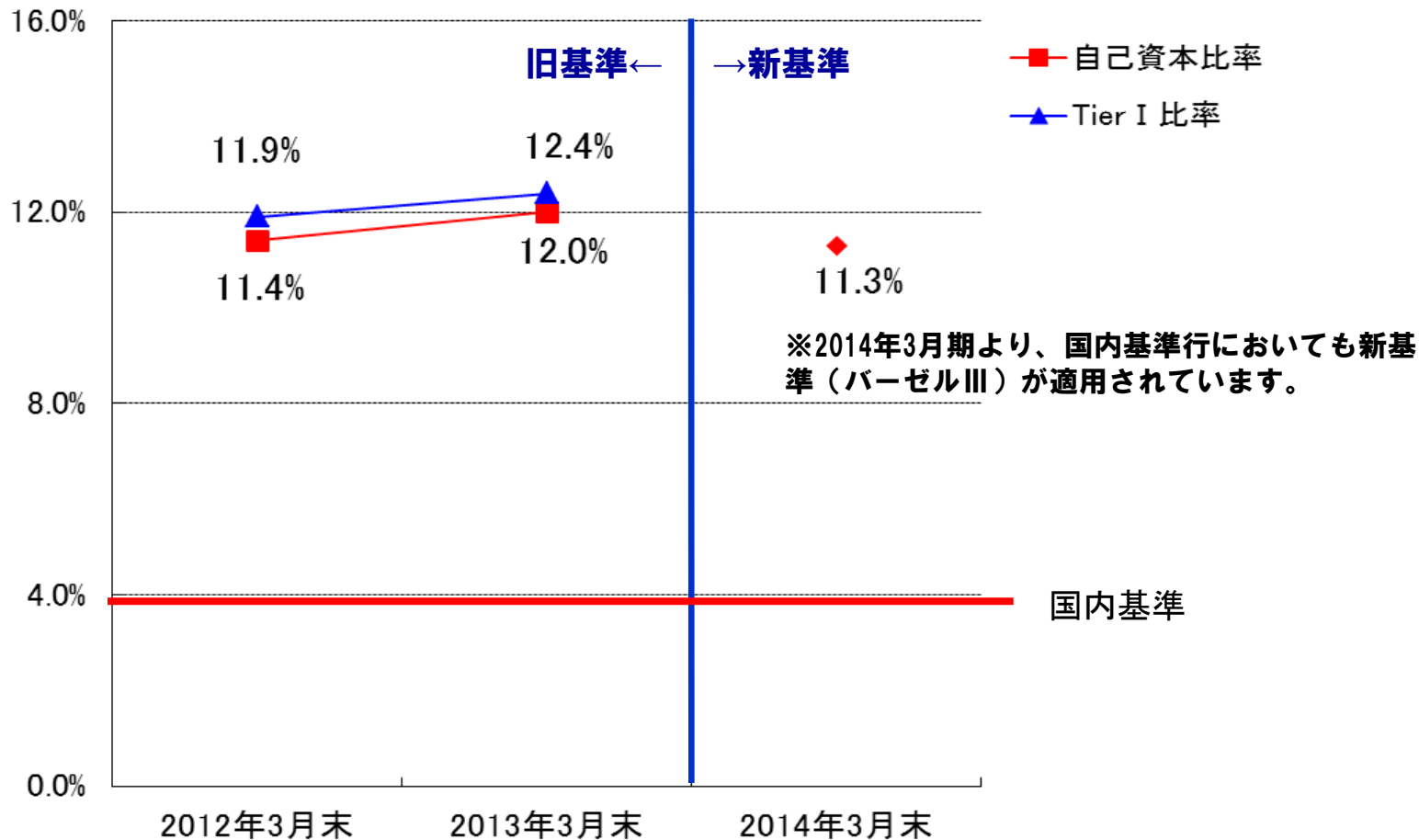
(単位: 億円)

	2012年 3月末	2013年 3月末	2014年 3月末	前期末比
破産更生債権及びこれらに準ずる債権	19	18	14	-3
危険債権	77	52	40	-11
要管理債権	34	23	13	-10
正常債権	9,142	9,588	10,654	1,066
合計	9,273	9,683	10,723	1,040

上記は、「金融機能の再生のための緊急措置に関する法律」に基づいています。

# 自己資本比率

■自己資本比率は、高水準を維持。



# 会社概要 (2014年4月30日現在)

- 商号 オリックス銀行株式会社  
(ORIX Bank Corporation)
- 本店所在地 東京都港区芝3-22-8 オリックス乾ビル
- 代表取締役社長 潮 明夫
- 設立 1993年8月23日
- 資本金 450億円
- 株主 オリックス株式会社(100%)
- 従業員数 535名
- 長期格付け 「A+」格付投資情報センター(R&I) 「A-」スタンダード&プアーズ(S&P)
- 所在地
  - ・本店 東京都港区芝3-22-8 オリックス乾ビル
  - ・セゾン出張所 東京都港区芝3-22-8 オリックス乾ビル
  - ・大阪オフィス 大阪府大阪市西区西本町1-4-1 オリックス本町ビル
  - ・福岡オフィス 福岡県福岡市博多区博多駅前4-4-15 博多駅前H44ビル
  - ・立川オフィス 東京都立川市曙町2-22-20 立川センタービル
  - ・沖縄出張所  
(コールセンター) 沖縄県那覇市おもろまち1-1-12 那覇新都心センタービル